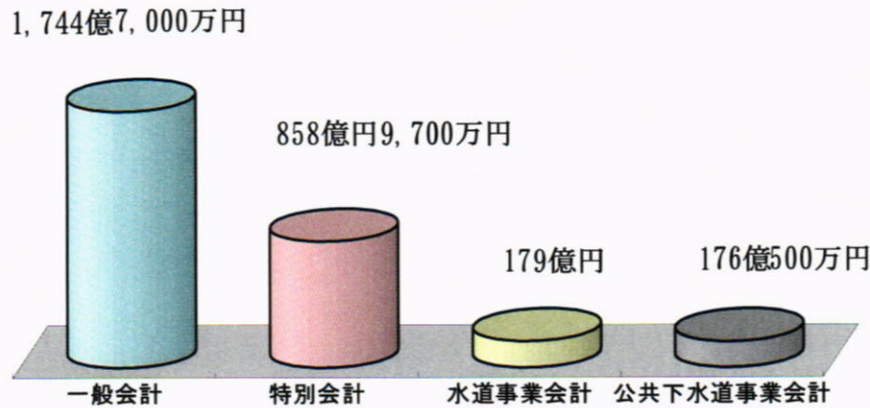


IV大分市の予算

1. 平成24年度予算（当初予算）の概要

総額 2,958億7,200万円



平成24年度の一般会計の予算は、1,744億7,000万円となっています。これに特別会計、水道事業会計、公共下水道事業会計を合わせた全会計の予算規模は、2,958億7,200万円です。前年度6月（肉付）補正後予算と比べて5.3%増加しています。

【一般会計】

大分市の会計の基本をなすもので、行政運営の基本的な経費や政策的経費が計上されています。

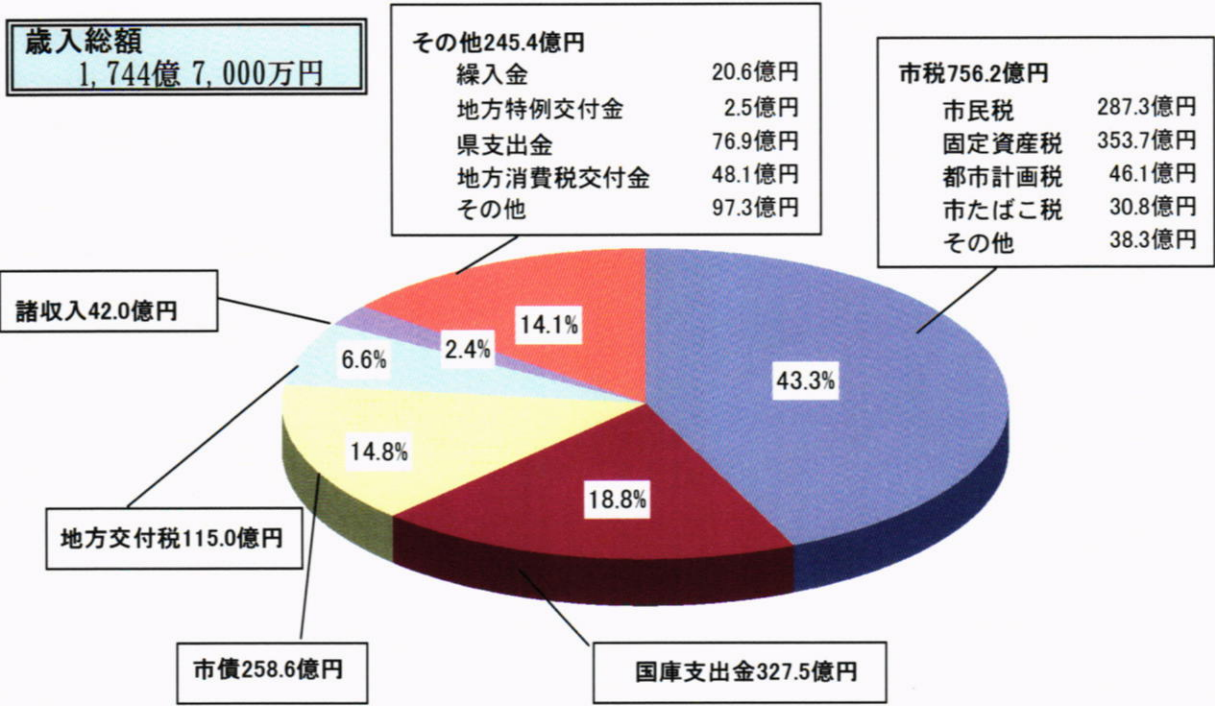
歳入

歳入の主なものは、市税756億1,704万円、国庫支出金327億4,816万円、地方交付税115億円、市債258億5,780万円となっています。構成比は次のグラフのとおりで、自主財源である市税が歳入全体の43.3%を占めています。

自主財源と依存財源

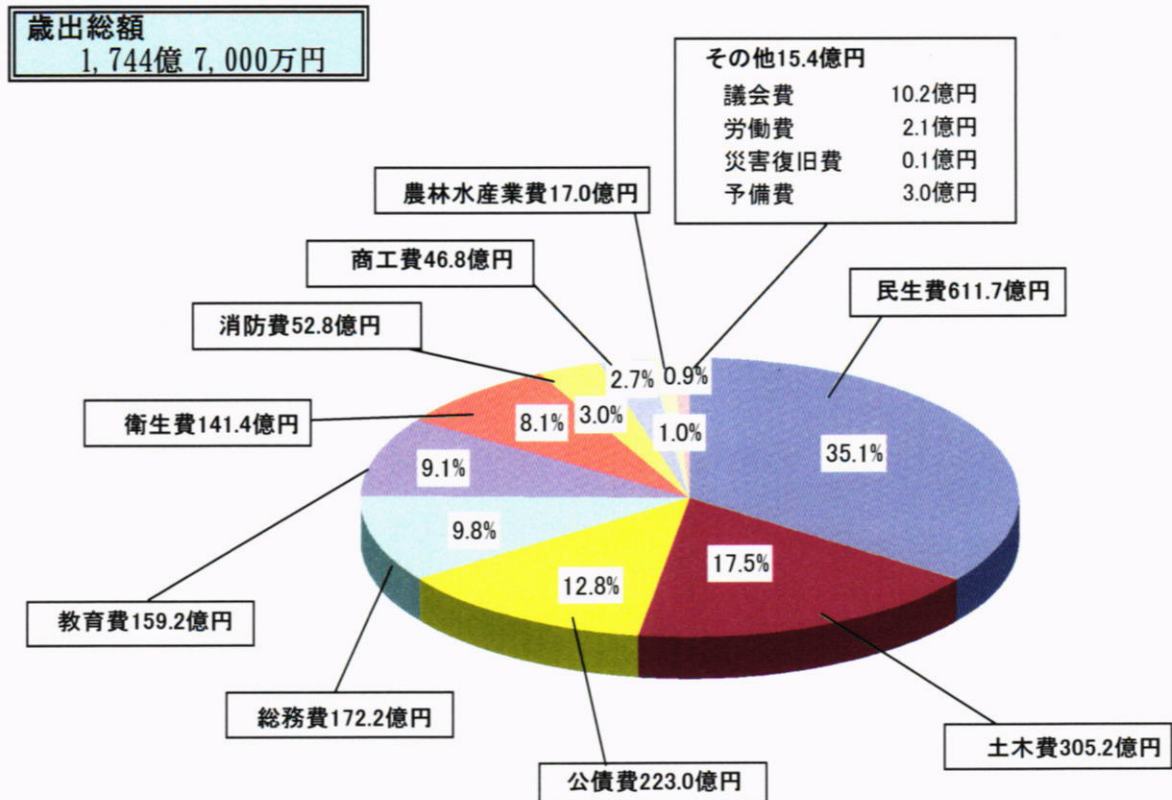
自主財源とは、地方公共団体が自主的に収入し得る財源をいい、地方税、使用料、手数料、寄附金、財産収入、繰入金、諸収入、繰越金等があります。歳入全体の中で、この自主財源の占める割合を自主財源比率といい、地方財政の自主性を高めるためにも、自主財源比率の割合が高いことが望まれています。

また、国や県より定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入を依存財源といいます。依存財源には、国庫支出金、県支出金、地方交付税、地方債等があります。この依存財源が大きいほどその団体の財政状況は脆弱であると考えられます。



歳出

歳出予算は、行政目的別に区分されており、その構成比は次のグラフのとおりで、主なものは、民生費611億6,873万円、土木費305億2,100万円、公債費222億9,998万円、総務費172億2,032万円、教育費159億1,573万円となっています。



市税の使い道

市税の収入額は756億2千万円です。これを市民一人あたりに換算すると約159,900円の収入になります。この収入がどのような経費に使われているかを示すと次のようになります。

	市税収入額 756.2億円の割り振り	市民一人当たり 159,900円の割り振り
民生費 保育所の整備、児童手当の支給、高齢者ワンコインバス、生活保護、障がい者医療費の助成など	201.2 億円	42,500 円
公債費 市が借入れをした市債(借金)の償還金	152.7 億円	32,300 円
教育費 幼稚園・小中学校の施設整備、文化財の保存整備、美術館、地区公民館等の管理運営費など	91.4 億円	19,300 円
総務費 庁舎の管理、戸籍住民基本台帳費、統計調査費、選挙執行費など	89.0 億円	18,800 円
土木費 市道の整備、住宅建設、区画整理事業、公園整備事業など	80.7 億円	17,100 円
衛生費 保健所費、ゴミやし尿収集及び処理経費、廃棄物処理施設整備費、環境対策費など	78.0 億円	16,500 円
消防費 救急車、消防車両等の購入、防火水槽の整備、消防団詰所の整備など	34.1 億円	7,200 円
商工費 中小企業者等への各種融資、計量関係費観光振興費など	12.1 億円	2,600 円
議会費 議員報酬、事務局事務費など	7.3 億円	1,500 円
農林水産業費 農業委員会の運営費、園芸振興費、畜産振興費、農道・林道整備、漁港整備など	7.0 億円	1,500 円
その他 災害復旧費、予備費など	2.7 億円	600 円

【特別会計】

特別会計とは、地方公共団体が特定の事業について、一般の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合に、一般会計とは別に設置する会計です。大分市では10の特別会計があり、このうち法令で義務づけられているものが4会計、条例に基づき設置されているものが6会計あります。

法令で設置が義務づけられているもの

国民健康保険特別会計	488.3億円
介護保険特別会計	298.9億円
後期高齢者医療特別会計	44.4億円
母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	1.2億円

条例に基づき設置されているもの

財産区特別会計	2.1億円
土地取得特別会計	19.2億円
公設地方卸売市場事業特別会計	3.4億円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	0.1億円
農業集落排水事業特別会計	1.4億円
坂ノ市土地区画整理清算事業特別会計	0.1億円

【水道事業会計・公共下水道事業会計】

水道事業会計と公共下水道事業会計は特別会計ですが、地方公営企業法が適用され、一般会計やその他の特別会計とは経理の仕方が違うため、他の会計と区分しています。

2. 平成24年度重点事業の概要

平成24年度予算の重点事業の主なものを、歳出の目的ごとにあげると、次のとおりとなっています。

【総務費】

地域まちづくり活性化事業 36,100 千円

- 本庁管内の5地区公民館及び各支所・明野出張所の区域を単位として市民協働推進担当を配置し、直接地域へ出向き、事業の趣旨や進め方などを説明し、「市民総参加と協働」のもと、多くの市民が参画できるよう取り組みを進める。

小規模集落・里のくらし支援事業 4,000 千円

- 中山間地域など条件不利地域の小規模集落(65歳以上の人口が50%以上の自治区)での生活を守り、集落の存続や活性化を図る。
地域住民や、NPO、各種団体等の様々な主体が、集落の維持や活性化につながる長期に機能する取組を行う場合に、対象経費の4/5(限度額80万円)を補助する。

大分市誕生100年市民企画実施事業 20,000 千円

- 平成23年4月1日の旧大分市市制施行100周年及び、平成25年3月10日の新大分市市制施行50周年の記念の節目を祝う、様々な事業の一つとして、市民の旺盛な参画意欲に応えるとともに、創造性豊かな発想を活かし記念事業をさらに盛り上げるため、市民自ら企画・実施する事業を行う。

大分市土地開発公社清算事業 3,800,000 千円

- 土地開発公社は、要町駐車場貸付事業の収入により健全経営を確保してきたが、平成24年度より貸付事業の継続が困難となり、単年度収支が赤字となる見込みである。そこで、赤字額が累積し債務の解消が困難となる前に公社を解散することにより、債務保証している市の財政の健全化・安定化を図る。

おおいた夢色音楽プロジェクト 13,000 千円

- 市民に身近な場所でミニコンサートを開催するなど、年間を通じて音楽の溢れるまちを実現するとともに、団塊の世代をはじめあらゆる世代が参加交流できるイベントとして、「おおいた夢色音楽祭」を開催する。

【民生費】

高齢者ワンコインバス事業 260,000 千円

- 70歳以上の高齢者に対し、バス乗車料金の一部を助成することにより、生きがいをもち気軽に外出できる環境を作り、自立した健康的な生活や積極的な社会参加を促進する。

発達障がい児巡回専門員派遣事業 4,000 千円

- 発達障がいに関する知識を有する専門員が、保育所や幼稚園などの子どもやその保護者が集まる施設を巡回し、施設のスタッフや保護者に対し、発達障がいの早期発見・早期対応のための助言を行う。

家庭的保育事業 22,799 千円

- 市が認定した家庭的保育者(保育ママ)がその居宅において保育に欠ける児童を少人数(3人以下)預かり、家庭的な雰囲気の中で保育する。

【衛生費】

妊婦健診助成事業 437,875 千円

- 妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図るため、母子健康手帳交付時に妊婦健康診査受診票(14回分と血液検査)を交付する。平成24年度は、クラミジア抗原検査を追加。

慢性腎臓病対策推進事業 1,157 千円

- 慢性腎臓病や高血圧・糖尿病等の生活習慣病予防の普及啓発を行うとともに、かかりつけ医と専門医との病診連携システムの構築を図るための事業を実施し、新規人工透析患者の減少を目指す。

環境にやさしい自動車導入推進事業 10,000 千円

- 環境負荷の少ない自動車(電気自動車)を購入する市民に対し、経費の一部を助成することにより、一般家庭におけるエコエネルギーの利用促進を図り、もって市民の省エネルギー対策の促進及び地球温暖化対策を推進する。
補助金額: 電気自動車 200,000円/台

太陽光発電設備設置補助事業 60,000 千円

- 地球温暖化対策として、太陽光発電設備の設置を促進することにより、市域内の一般家庭における温室効果ガスの発生を抑制するとともに、エネルギーの自家生産を促進する。

補助金額：30,000円/kWh(限度額100,000円/基、600基見込み)

福宗環境センター清掃工場長寿命化事業 835,872 千円

- 平成9年度の稼動開始より15年が経過した福宗環境センター清掃工場において、ストックマネジメントの手法導入により効果的・効率的な維持管理を行うため、平成24年度から3か年で基幹的設備の改良事業を実施する。

【農林水産業費】

有害鳥獣対策事業 27,979 千円

- 有害鳥獣の駆除を行うとともに、防護柵設置や狩猟免許取得等に対して支援することにより、増加傾向にある有害鳥獣による農作物への被害や宅地内への侵入などを防止する。

農業参入企業推進事業 49,800 千円

- 大分市内で農業に参入する企業が行う従業員の新規雇用及び栽培施設等の整備に要する経費に対し助成を行う。
(雇用促進助成金)新規従業員6名以上(正規従業員1名以上を含む)の雇用へ助成
正規従業員：100万円/人 非正規従業員：20万円/人(限度額1,000万円)
(施設等整備事業)栽培施設等の整備に対する補助(補助率は品目、面積等により異なる)

【商工費】

企業立地推進事業 577,734 千円

- 本市における企業立地を促進し、産業の振興及び雇用機会の拡大を図る。
・対象：製造業、情報サービス業、大分流通業務団地へ立地する企業等で要件を満たすもの
・助成金額：設備投資額の5%以内の額(限度額5億円)、新規雇用従業員数×50万円(限度額1億円) 合計限度額5億円(単年度交付額は2億円を限度)

森林セラピー魅力創出事業 22,240 千円

- 森林を活用した健康づくり等に関心のある市民及び観光客を対象に、森林セラピープログラムの実施により森林の持つ癒し効果を体験できる機会を提供するとともに、トレイルランニング大会を開催し、森林セラピーを活用した新たな観光資源の開発及び情報発信をする。
平成24年度は森林セラピーロードへの案内板設置等のほか、貴重な観光資源である高崎山の南登山口へのアクセスロード等の周辺環境整備を実施する。

商都復活支援事業 73,813 千円

- 大分市中心市街地商都復活支援事業区域において、中心市街地の活性化を図ることを目的に、当該区域で事業を実施する商店街団体や事業者に対し、補助金を交付する。
出店時の改装費や月額家賃の補助、イベント開催に係る費用の補助等。

【土木費】

下白木・田ノ浦海岸線桜並木風景街道整備事業 45,000 千円

- 下白木から田ノ浦ビーチまでの山側約1.6キロメートル区間の旧国道敷地等を活用して、平成23年度と平成24年度の2箇年で約300本の桜を植栽し、多くの市民はもとより観光客にも楽しんでいただける桜並木の整備を図る。

大分駅南土地区画整理事業 2,681,260 千円

- 大分駅の高架事業と併せて道路網の再編を行い、鉄道の高架化に伴うJR操車場跡地等を活用することにより、良好な市街地環境を持つ地区の創出を図る。
施行面積 49.6ha 都市計画道路9路線 延長 3,825m
南北駅前広場 24,104㎡ 区画道路・歩行者道路 延長 6,233m

ホルトホール大分整備事業 9,893,791 千円

- 市民ホール、市民図書館、総合社会福祉保健センター等の複合施設を建設整備する。
供用開始予定 平成25年7月 敷地面積 18,970.61㎡ 延床面積 約36,500㎡

【24年度計画概要】

施設建設、施設引渡し

ふれあい交通運行事業 30,000 千円
■ 交通不便地域において、平成16年度から運行してきた「ふれあいタクシー」と平成22年度から実証実験を進めてきた「新コミュニティ交通」を統合して、生活や交通の拠点バス停(最寄のバス停)までの乗合タクシーを16ルートで運行(1回乗車200円、行きは2名以上の乗車で運行、週最大6便「乗車数多数ルートは9便」を上限)する。

敷戸南住宅建設事業 753,062 千円
■ 耐震改修が必要な敷戸南住宅の3棟を建替え、居住者の安全の確保を図る。
供用開始予定 70戸 平成25年3月

(仮称)佐賀関住宅建設事業 35,945 千円
■ 佐賀関地区において老朽化や塩害による腐食等が進んだ市営住宅の集約建替えを行う。
供用開始予定 66戸 平成27年1月

【消防費】

全市一斉防災訓練 10,000 千円
■ 東日本大震災を教訓とし、住民総参加による初動体制を中心とした避難訓練等を実施するとともに、地域住民、行政及び防災関係機関との連携を強化し、防災体制の確立と住民一人ひとりの防災意識の高揚を図る。
開催予定日:平成25年3月10日(日)

情報伝達設備整備事業 15,000 千円
■ 東南海・南海地震が発生した場合、市内で最初に津波が到達すると想定される佐賀関地区の豊後水道沿岸部を対象に情報伝達設備を整備することにより、地域住民に対して速やかに避難情報を伝え、迅速な避難行動に結びつける。

シンボルロード内飲料水兼用耐震性貯水槽等整備事業 123,100 千円
■ 大規模地震に備え、シンボルロード内に飲料水兼用耐震性貯水槽を設置することにより、1万人が3日間必要な水を確保するとともに、併せて防災倉庫、マンホールトイレ等を整備し、ホルトホール大分とシンボルロードを一体とした防災拠点として利用する。

消防局庁舎増築事業 2,500 千円
■ 現庁舎の北側に新たな庁舎を増築し、一層の消防体制の機能充実を図る。

【教育費】

小・中学校校舎等耐震化推進事業 50,500 千円
■ 平成17年度までに実施した耐震診断の結果、構造耐震指標(Is値)が基準値を下回る棟から計画的に耐震化を図る。

南大分小学校施設整備事業 1,270,000 千円
■ 校舎の耐震診断結果や耐用年数、児童数の推移等を総合的に勘案し、校舎・屋内運動場・プール等、全面的な改築を行うことで、施設の機能充実と教育環境の整備・充実を図る。
建築概要:校舎棟面積 6,739㎡ RC造4階建て
屋内運動場棟面積 1,026㎡ 供用開始:平成24年度

春日町小学校北校舎改築事業 208,000 千円
■ 校舎の耐震診断結果や耐用年数、児童数の推移、校舎全体の状態等を総合的に勘案し、校舎の改築を行うことで、教育環境の整備・充実を図る。
校舎建築概要(予定):面積 約3,104㎡ RC造4階建て 供用開始:平成25年度

大友氏遺跡保存整備事業 684,034 千円
■ 大友氏館跡と旧万寿寺地区からなる大友氏遺跡は、わが国の中世を代表する貴重な歴史遺産であり、海外との広い繋がりを示す貴重な史跡として評価されていることから、発掘調査による資料収集や史跡の保存・整備を行うことにより遺跡を活かしたまちづくりをすすめていく。
「大友氏館跡」推定範囲46,000㎡(指定率69.56%)
「旧万寿寺地区」推定範囲79,000㎡(指定率58.22%)

【公債費】

住民参加型市場公募地方債発行事業 6,972 千円
■ ホルトホール大分建設に係る地方債の一部(10億円)を住民参加型市場公募地方債として発行し、新たな資金調達手法を確立するとともに、市民のまちづくりへの参加意識の醸成を図る。

平成24年度当初予算【NEXT100年創造予算】のポイント

予算規模等

平成24年度は、市税の減収が見込まれる中、扶助費等の社会保障関係費を含む経常的経費は高水準で推移しており、依然として厳しい財政状況にあります。このため引き続き分権型予算制度に取り組む中、徹底したコスト意識のもと選択と集中により効率的・効果的な予算編成に努めました。

特に、新年度が次の百年に向けたスタートを切る節目の年となることから、将来のまちづくりを見据える中で「防災対策」中心市街地のまちづくり、「大友宗麟」を重点項目と位置づけて編成を行い、一般会計は過去最大の予算規模となりました。

なお、プライマリーバランスは、ホルトホール大分整備事業債を約61億円、土地開発公社解散に伴う第三セクター等改革推進債を38億円発行することなどから赤字を見込んでおります。

○各会計の予算規模

会計区分	平成24年度当初	平成23年度6月補正後	増減率
一般会計	1,744億7,000万円	1,621億7,000万円	7.6%増
特別会計	858億9,700万円	837億9,300万円	2.5%増
水道事業会計	179億円	165億8,000万円	8.0%増
公共下水道事業会計	176億500万円	184億3,100万円	4.5%減
計	2,958億7,200万円	2,809億7,400万円	5.3%増

○プライマリーバランスと市債残高の推移(一般会計)

年	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
プライマリーバランス	33	111	100	119	131	141	119	99	71	△36
市債残高	2,019	2,102	2,097	2,069	2,037	1,980	1,948	1,927	1,888	1,955

(単位:億円)

重点項目

単位:千円

<p>大震災の教訓を踏まえた 防災対策 300百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報伝達設備整備事業 15,000 ●防災情報メール配信事業 3,962 ●新津波ハザードマップ作成事業 20,000 ●津波対策事業 3,377 (津波避難場所、避難ビル指定等) ●防災士養成事業 1,636 ●自主防災組織強化事業 20,323 ●新全市一斉防災訓練 10,000 ●シンボルロード内飲料水兼用耐震性貯水槽等整備事業 123,100 ●小中学校校舎等耐震化推進事業 50,500 など <p>平成23年度3月補正 全国防災対策費関連 940百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小中学校校舎等耐震化推進事業 622,143 ●消防・救急無線デジタル化整備事業 287,625 ●県営漁港整備事業 30,000 	<p>京都の顔としての 中心市街地のまちづくり 13,763百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大分駅付近連続立体交差事業 372,000 ●大分駅南公共団体系画整理事業 2,681,260 ●関連街路事業 278,511 ●ホルトホール大分整備事業9,893,791 ●大分都心南北軸トータルデザイン設計事業 26,156 ●新北口駅前広場国道10号交差点平面横断検証事業 14,000 ●新都心南北軸整備関連タクシー待機システム基本設計事業 3,000 ●新大手公園駐輪場整備事業 5,000 ●商都復活支援事業 68,420 など 	<p>大友宗麟 の全国への情報発信 703百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大友氏遺跡公有化事業 642,221 ●大友氏遺跡確認調査事業 37,242 ●新大友氏館跡整備基本構想策定事業 4,571 ●大友氏遺跡体験学習館運営事業 15,625 ●府内南蛮講座開催事業 2,000 ●新大友宗麟副読本作成事業 800 ●新大友宗麟プロモーション事業 325 など
---	--	---

主要施策

単位:千円

1. 市民福祉の向上

- 在宅老人支援事業 48,945
- 障がい児通所支援事業 568,667
- 新地域活動支援センターⅢ型移行時運営安定化事業 7,868
- 障がい者福祉施設整備事業 190,794
- 家庭的保育事業 22,799
- 児童育成クラブ事業 229,190
- 新家庭の絆創生事業 2,465
- 新慢性腎臓病対策推進事業 1,157
- 新大分市小児夜間急患センター運営支援事業 35,822
- 新小規模集落・里のくらし支援事業 4,000

2. 教育・文化の振興

- 南大分小学校施設整備事業 1,270,000
- 春日町小学校北校舎改築事業 208,000
- 鶴崎小学校北校舎改築事業 187,000
- 新大分小学校施設整備事業 168,000
- 滝尾中学校施設整備事業 71,000
- 大分中学校施設整備事業 28,700
- 新(仮称)教育センター整備事業 2,500
- あいさつOITA+1運動推進事業 3,016
- 家庭の日推進事業 1,116
- 総合型地域スポーツクラブ事業 7,500
- 陸上競技場施設整備事業 426,000
- 新全国高等学校総合体育大会開催事業 5,700
- 新武漢市学校交流事業 1,400

3. 防災安全の確保

- 野津原地区浸水対策事業 162,500
- 佐賀間馬場地区浸水対策事業 77,000
- 新消防局庁舎増築事業 2,500
- 新消防局野津原出張所移転建設事業 5,200

4. 環境の保全

- みんなの森づくり市民植樹祭開催事業 3,241
- 福宗環境センター清掃工場長寿命化事業 835,872
- 新「生ごみのひと絞り」モニター事業 846
- 新資源物持ち去り禁止対策事業 3,150
- 環境にやさしい自動車導入推進事業 10,000
- 新太陽光発電設備設置補助事業 60,000
- 納骨堂等複合施設建設事業 4,500
- 新墓地管理システム開発事業 6,900
- 給水施設整備補助事業 2,500

5. 産業の振興

- 企業立地推進事業 577,734
- 友好都市間交流ビジネスチャンス創出事業 7,666
- 「おおいたの幸」ブランド化支援事業 2,936
- 新地元農林水産物定期市支援モデル事業 360
- 新農業参入企業推進事業 49,800
- 有害鳥獣対策事業 27,979
- 竹粉砕機貸出事業 5,320
- 森林セラピー魅力創出事業 22,240
- 新新大分駅舎開業記念大分市PR事業 6,000

6. 都市基盤の整備

- 横尾公共団体系画整理事業 877,096
- 浜町・芦崎・新川地区住環境整備事業 626,000
- 滝尾中部地区住環境整備事業 922,000
- 三佐北地区住環境整備事業 304,100
- 細地区住環境整備事業 79,900
- 下白木・田ノ浦海岸緑桜並木風景街路整備事業 45,000
- 新別大国道サイクル&ジョブ開催事業 5,000
- 敷戸南住宅建設事業 753,062
- 新(仮称)佐賀間住宅建設事業 35,945
- ふるさと団地の元氣創造推進事業 20,850

行政改革への取り組み

「行政改革推進プラン」に基づいて事業の見直し等を行い、10億2,600万円の財源を捻出しました。

- 給与の適正化 522百万円
職員給与と4%・5%カットや時間外勤務手当の縮減など
- 業務執行方式の見直し 343百万円
給食調理業務職員配置基準の見直しによる職員数の削減など
- 行政事務の効率化、事務事業の整理合理化 102百万円
行政評価制度の活用、各種補助金等の見直し
- その他 59百万円
市民いこいの家「やすらぎ」の廃止など

市民協働のまちづくり (7本柱による取り組み)

<p>地域コミュニティの再生 197百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新小規模集落・里のくらし支援事業 ●ご近所の底力再生事業 ●地域まちづくり活性化事業 ●あなたが支える市民活動応援事業 ●おおいた地域伝統文化応援事業 ●頑張る集落たすく隊事業 ●大分市ふるさとづくり運動推進事業 など 	<p>市民の健康づくり 537百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新認知症対策事業 ●特定健診事業 ●市民健診・がん検診事業 ●ふれあいサロン事業 ●健康推進員地域活動事業 ●大分市民健康ネットワーク協議会運営事業 ●食生活・栄養改善推進事業 など 	<p>安心・安全のまちづくり 177百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新全市一斉防災訓練 ●新津波ハザードマップ作成事業 ●津波対策事業 ●防災情報メール配信事業 ●自主防災組織強化事業 ●防犯灯補助事業 ●木造住宅等耐震化促進事業 ●食の安全安心推進事業 など 	<p>日本一きれいなまちづくり 96百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本一きれいなまちづくり推進事業 ●ポイ捨て防止対策事業 ●放置自転車対策事業 ●屋外広告物簡易除去事業 ●きれいにしようおおいたの推進事業 ●不法投棄監視ネットワーク事業 など 	<p>地球環境保全の取り組み 129百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新太陽光発電設備設置補助事業 ●地球温暖化対策推進事業 ●環境にやさしい自動車導入推進事業 ●緑のカーテン設置事業 ●段ボールコンポスト普及啓発事業 ●みんなの森づくり事業 ●雨水貯留施設設置事業 など 	<p>スポーツによるまちづくり 64百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ホームタウン推進事業 ●ホームタウン市民ネットワーク事業 ●九州Jリーグホームタウン連携事業 ●大分市スポーツフェスタ開催事業 ●総合型地域スポーツクラブ事業 	<p>あいさつと 笑顔があふれるまちづくり 3百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●あいさつOITA+1運動推進事業 ●豊の都市校区ひとづくり推進事業
---	--	---	--	---	---	---

みんなで築こう 人権の世紀

(サブテーマ)

～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～

平成24年度法務省啓発活動目標